

合志市歴史資料館施設概要

- ◆開館時間 午前9時～午後4時30分
- ◆休館日 月曜日(月曜日が祝日の場合は翌平日)・月末・年末年始
- ◆展示内容 合志市の原始・古代から近代までの資料の通史展示を行なっています。

文化財の紹介動画で  
コロナ禍でも楽しく学ぶ

外出が厳しい今だからこそ、外出時のわくわくした気分を味わいながら学ぶことができる場を提供したいと考え、本市クリエイター塾出身の志水亜紀さん、末松光太郎さんの協力のもと、1分程度の動画を9本作成し、本市公式YouTubeにアップロードしました。

パレアミュージアムオンライン配信サービス(2月19日～3月31日まで)や全国遺跡総覧ホームページにも掲載し、多くの皆さんが本市の歴史や文化財に親しむことができるようにしています。動画を見て、本市の歴史や文化財について学び、親しみを持った人は、ぜひ本市歴史資料館や文化財を訪れてみてください。

※新型コロナウイルス感染症まん延防止等重点措置の適用期間中は、歴史資料館の入場制限を実施します。詳しくはホームページをご覧ください。お問い合わせください。



▲動画の視聴はこちら ▲隙間時間でも視聴しやすい動画です

私のおすすめの文化財  
ヒストリップ in こうし



生涯学習課 学芸員 前田 純子さん

かなざわきかく じょうるりぼん  
金澤蟻鶴が使った浄瑠璃本656点



九州国立博物館に次ぐ所蔵数を誇る

金澤浄瑠璃は、金澤蟻鶴(本名 志柿三郎)が江戸で興した流派で、竹迫日吉神社の境内などで竹迫座という座名で活動していました。歴史資料館ではその子孫から寄贈された正本や稽古本、人形の頭などを展示・保管しています。「明治太平記」(西南戦争を脚色した作品)などの江戸後期から明治期刊行の浄瑠璃本は、九州で2番目の保有数を誇る貴重なものです。

おつぼつかやまこふん  
生坪塚山古墳



市を一望できるビュースポット

合生・生坪区にある古墳時代中期(5世紀頃)の円墳です。直径約30m、高さ約4mあり、築造当時の姿をほぼ留めています。頂上に立つ板石が石棺の蓋と伝えられており、内部構造などの詳細は不明です。古墳の頂上からの眺めは非常によく、合志台地が一望できます。眺めの良い場所に築造された有力者の墓ではないかと考えられます。

特集

文化財の  
保存と活用

市歴史資料館  
での取り組み

多くの皆さんに本市の歴史や文化財を知ってもらうため、生涯学習課では新たな取り組みを始めました。今回は、その取り組みを紹介します。

市歴史資料館パンフレット・ふるさとカルタで文化財を知る

本市の歴史や文化に触れ、楽しく学びながら、市への愛着や誇りを育んでほしいという願いを込めて『合志市歴史資料館パンフレット』と『合志市ふるさとカルタ』を作成しました。

『市歴史資料館パンフレット』の表面では、本市の由来と資料館の沿革や展示概要を、裏面では資料館全体図の中に展示品の概要を解説しています。解説文に添付している二次元コードを読み取ると文化財の紹介動画が閲覧でき、文化財についてより詳しく知ることができるようになりました。

野口チカ子さん(須屋)の編集協力のもと作成した『合志市ふるさとカルタ』は、本市の文化財を中心に、市内の山や公園なども取り上げています。取り札の裏面では文化財について紹介しており、子どもも大人も楽しく学べる内容となっています。

パンフレットやカルタを通して、皆さんが本市の魅力や新たな発見・再確認し、家族とのふれあいを深めるきっかけとなればと考えています。



▲ふるさとカルタ



▲パンフレット

◀二次元コードから見ることもできます



生涯学習課 学芸員 米村 大さん

私は、大学で考古学を学び、これまで市内の遺跡発掘を担当してきました。調査した資料を多くの皆さんに見てもらえるよう、歴史資料館学芸員として、資料の収集・保存・研究・展示に力を入れています。

また、文化財の保存だけでなく活用も求められる中で、隅倉雄一歴史資料館長が企画・運営する『子ども歴史科学体験教室』や『ふるさと探訪まちめぐりバスツアー』なども行ない、幅広い年代の皆さんに、本市の歴史や文化財について興味・関心を持ってもらえるよう努めています。

文化財を通して、本市の過去と現在の繋がりを知ってもらい、それらを大切にしてもらえるように市民の皆さんはもとより、多くの人たちに伝えていきたいです。また、文化財から見た「合志らしさ」のキーワードを探すお手伝いができれば嬉しいです。

●問い合わせ先

生涯学習課 生涯学習班  
☎(248)5555